

9

日口地先沖合漁業交渉

日本とロシアとの間では、昭和59年(1984年)12月に成立した「地先沖合漁業協定」に基づき、毎年、操業条件について日口漁業委員会が決定し、相手国200海里水域内に入漁しています。

平成24年11月の日口漁業委員会第29回会議では、日口の密漁防止対策の進展や、ロシア水域内の水産資源が回復傾向にあることを背景に、ロシア200海里水域での相互入漁枠の大幅な増加が認められるなど、最終的に6万2千96トンの漁獲割当量を確保しています。

(1) 平成25年(2013年)の合意内容

① ロシア200海里水域における日本漁船の操業条件等

ア. 相互入漁

- ▶ 総漁獲割当量 62,096 トン (前年 51,355トン)
- ▶ 総隻数 546 隻 (前年同数)

イ. 有償入漁

- ▶ 総漁獲割当量 5,098 トン (前年同数)
- ▶ 入漁料 2億1,148 万円 (前年同数)
- ▶ 総隻数 45 隻 (前年同数)

ウ. 追加協議

- ▶ 西ベーリング水域で追加割当が生じた場合、日本漁船への配分を最優先に協議。

< 主な魚種別の漁獲割当量 > ※ () 内は追加割当量 (単位:トン)

魚種	平成24年(2012年)		平成25年(2013年)	
	相互入漁	有償入漁	相互入漁	有償入漁
スケトウダラ	4,752	3,000	10,126	3,000
マダラ	537	190	821	190
サンマ	35,850	-	41,370	-
イカ	8,390	580	8,010	580
その他	1,826	1,328	1,769	1,328
計	51,355	5,098	62,096	5,098
	56,453		67,194	

② 日本200海里水域におけるロシア漁船の操業条件等

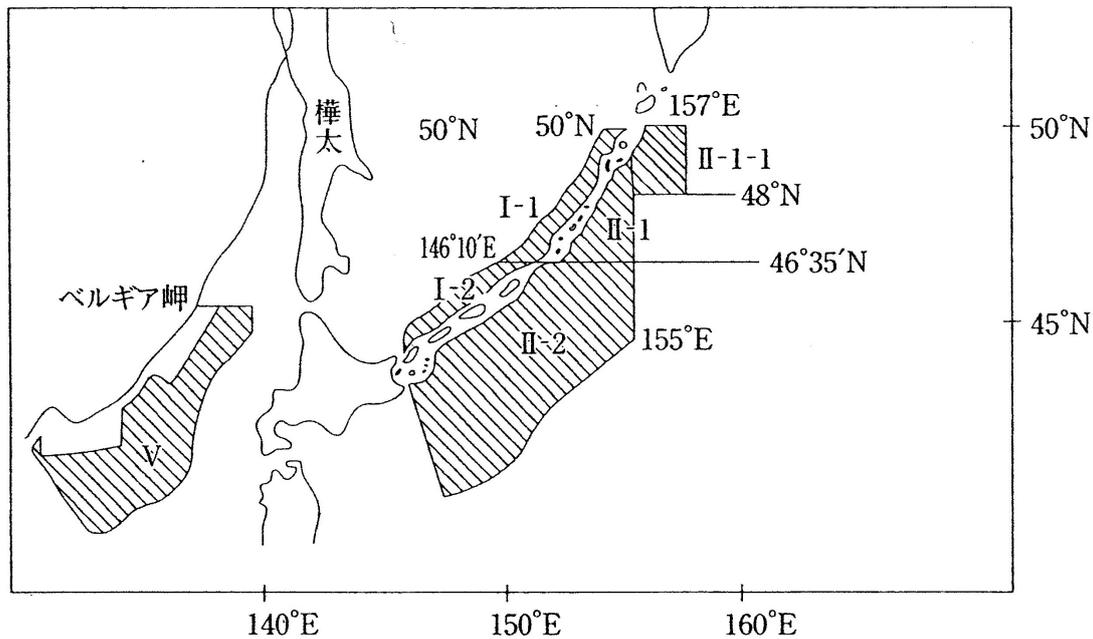
ア. 相互入漁

- ▶ 総漁獲割当量 62,096 トン (前年 51,355トン)
- ▶ 総隻数 101 隻 (前年同数)

< 主な魚種別の漁獲割当量 > (単位:トン)

魚種	平成24年(2012年)	平成25年(2013年)
イワシ・サバ	10,752	13,296
イトヒキダラ	27,800	27,800
サンマ	12,803	21,000
その他	-	-
計	51,355	62,096

(2) 日口地先沖合漁業交渉操業海域図



○	相互入漁水域	
I-1区	千島（オホーツク海側北）	底はえ縄
I-2区	千島（オホーツク海側南）	底はえ縄
II-1区	千島（太平洋側北）	中層トロール、底はえ縄、棒受け網
II-1-1区	千島（太平洋側北）	中層トロール、着底トロール、底はえ縄
II-2区	千島（太平洋側南）	底はえ縄、棒受け網
V区	日本海	いか釣り
○	有償入漁水域	
II-2区	千島（太平洋側南）	着底トロール、中層トロール

資料：北海道水産林務部漁業指導課

注：II-1、II-1-1、の中層トロール・着底トロールは、遠洋底びき網、
II-2の着底トロール・中層トロールは、沖合底びき網